

令和5年度

令和6年3月6日



遷喬小だより

3月号①

学校教育目標 **自ら未来を拓き 心豊かに たくましく生きる子どもの育成**

学校スローガン **TEAM遷喬 PRIDE遷喬 ~子どもも 教師も 地域も 伸びる学校~**

学校評価について

本校の取組について「学校運営協議会」にて学校評価をしていただきました。

保護者アンケートの結果や学校からの報告書をもとに、「学び合う子・支え合う子・鍛え合う子」の3項目についてそれぞれご意見や評価をいただくとともに、総合所見としてのご意見をまとめていただきました。

本校の取組に対して、成果と課題をご指摘いただき、来年度の方向性も見えてきました。本当にありがとうございました。

保護者の皆様、地域の皆様も学校評価を一読していただけたらと思います。

【知】 学び合う子

・参観等を通して、子どもたちの落ち着きや意欲的な態度が見受けられた。どの学年でも、子どもたちの学習に向かう姿勢が見える。できることを伸ばし、できていないことに目を向けさせることで、成長していると感じる。オープンスペースを活用し、学年合同の授業が行われ、おのおのが自分の役割を意識して学習に向かっている。ペアやグループも意図的に活用して、座席の配置も工夫できていることが成果につながっている。「聴き合う」「表現し合う姿」が随所に見られた。

・地域を知り、地域を教材化することで、地域を愛する児童に育てようとしていることがよくわかる。低学年でも、地域に目を向ける姿が見られた。地域人材の活用も効果的である。

・研修や指導の改善等、教職員の頑張りが見える。学校全体で共通理解して取り組んでいることがよい。学習の方向性・成果が、掲示物にも表れている。

【徳】 支え合う子

・あたたかい集団づくりの考え方がよい。「わからないと言える」「お尋ねができる」雰囲気作りの結果、共感的な人間関係の基礎、いわゆる「共生」の基礎教育がうかがえる。

・委員会発信で主体的に子どもたちに働きかけをしていることが成果につながっている。また、縦割り班活動等で上級生の姿を見て行動が下級生に次々とつながっていくものと思われる。学年を超えた学び合いの場ができており、指導者は児童の力を信じて任せ、指導助言をしつつ見守り、子どもを伸ばしている。マネジメントサイクルを児童自身が回していることは、今後も役立つ。

・時代に即したいじめ対応マニュアルが作成されている。また、新生徒指導提要の研修はとてもよい。教職員全体で意識付けできている。

・自立応援室が機能している。児童の実態も多岐にわたるが、今後も地域や様々な機関と連携し、早期発見、早期対応してほしい。

【体】 鍛え合う子

・高学年のリードにより、児童が健康を意識できている。外遊びをする児童が増えたことがよい。運動の習慣化が仲間との健康づくりにつながる。また、チャレンジランキング等の活用で楽しみながら体を動かすことで効果が出てきている。

・運動会では児童の主体性を十分に発揮できる工夫があった。その他の授業でも、自己の運動能力に合わせて楽しみながら目標に向かう姿が見られた。

・子どもと教員の意識の差が大きいアンケート項目がある。保護者の意識向上に向けての取り組みを考えていく必要があるのではないか。PTAとも協力し、すぐに結果に結びつかなくても情報発信等を行っていくとよい。

＜学校関係者評価 総合所見＞

子どもたちの主体性を重視した活動が随所に見られる。どの学年でも子どもたちが「聴き合う」「表現し合う」姿が見られ、学びに向かっていることがわかる。地域を教材化していることも効果的である。また委員会等で上級生が下級生に情報を発信し、あいさつや健康づくりに主体的に取り組んでいるところも評価できる。基盤となる人間関係づくりに取り組んだこともよく、教職員の研修も充実している。児童の実態も多岐にわたるが、地域やPTA、専門機関と協力して、今後に対応して行ってほしい。

皆様からいただいた貴重なご意見やご指摘を踏まえ、来年度の学校経営にいかしていこうと思います。

＜学校関係者評価を受けての今後の方向性＞

これまでの積み重ねにより、「聴き合う」「表現し合う」児童の姿が随所に見られるようになっていく。生活科や総合的な学習で培ってきた学びを、教育活動全体で生かしていく。ペアやグループでの学びを大切に、その基盤となる人間関係づくりを、児童理解や個別支援の視点を大切にして今後も続けていく。長欠不登校対策については、今後もチームとして対応し、保護者や他機関とも連携しながら粘り強く取り組みたい。健康や安全については、PTAと協力しつつ、より効果的な取り組みをめざす。